

日本農業遺産認定

丹波篠山の黒大豆栽培・300年の歴史

問い合わせ 農都政策課 ☎552-1114

黒大豆栽培のワンポイント 10月

かん水は10月上旬まで

良質な黒大豆を生産するため、粒の太りが完了するまでは、ほ場が乾燥したときにはかん水しましょう。



病害虫防除

仕上げ防除を実施します。今年はサヤムシガの被害が目立っています。ここでさやを食害されると今までの苦労が水の泡になってしまいます。なお、黒枝豆の薬剤防除は9月中旬には終了している必要があります。

葉とりは11月になってから

葉とり(摘葉)を早くすると成熟期は早まりますが、粒の太りが止まり、皺粒も増えるため、葉とりはほ場全体に葉の黄色みが広がる時期まで待つことが望ましいです。年末出荷をめざしていると、収穫後のスケジュールが厳しくなるため、葉とりの時期を早めてしまいがちです。しかし、粒の充実が完了するのは10月末のため、葉とりの時期はそれ以降が望ましいです。粒の充実の指標となる百粒重(大豆100粒の重さ)は、葉とりが10日早いと、適期に比べて1割弱(8%)も軽くなります。

黒枝豆の販売解禁日について

市では市内6カ所で莢の厚さを測定し、関係団体と協議のうえ、良質な黒枝豆が出そろい始める日として販売解禁日を決定しています。莢の厚さは、1日あたり平均0.2mm増加するため、例えば10mmに達した日からであれば10日で収穫適期に達します。

苦労して栽培した良質な黒枝豆を多くの方に味わっていただくため、販売解禁日にとらわれず、それぞれのほ場に応じた適切な収穫の判断をお願いします。

かん水のタイミングをお知らせする「かん水アラート情報」を10日おきに配信しています。情報は、JA丹波ささやま営農情報LINEのほか、JAや市のホームページで確認できます。

がんばって栽培した黒枝豆を
おいしく食べてもらうために

消費者が安心して高品質な丹波篠山市産黒枝豆を購入できる環境づくりがブランドを守ります。

問い合わせ 農都政策課 ☎552-1114

1 農薬の適正使用

使用前にラベルを確認しましょう。

- 使用量、希釈倍数
- 使用時期 (収穫〇日前まで)
- 使用回数 など

栽培暦などを確認し、計画的に農薬を使用してください。

3 産地や早熟品種の表示

消費者が安心して購入できるよう、食品表示基準に基づき名称・原産地の表示が必要です。

- ・一般的な名称＝丹波篠山黒枝豆など
- ・原産地＝丹波篠山市産、丹波篠山産

また、早熟な品種の場合「**早生**」と大きく表示するなど、消費者が区別できるようにしてください。

2 生育状況を見定めた収穫

解禁セレモニーや周囲の販売状況、お客さんの要望などにとらわれず、生育状況にあわせて収穫のタイミングを見定めてください。



4 陳列・保管方法の確認

黒枝豆は陳列・保管方法により味の劣化が早く進んでしまいます。しっかりと封をした鮮度保持袋を使用し冷暗所で保管することで、劣化を抑えることができます。

日当たりがよいところに陳列するなど、品質劣化につながる保管方法は避けてください。

(一社)ウイズささやまでも鮮度保存袋が購入可能です。 問い合わせ ☎552-7373

特定外来生物を発見したら通報を！

問い合わせ 兵庫県自然鳥獣共生課 ☎078-362-3389
農村環境課 ☎552-5013

クビアカツヤカミキリ



8月に、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」のフラス(木くずのような排出物)が市内で初めて発見されました。昨年7月に市内で成虫が確認されていましたが、フラスや被害木(食害された木)が見つかったのは今回が初めてです。

このカミキリは、サクラやモモ、ウメなどのバラ科樹木に卵を産み、孵化した幼虫が木の内部を食い荒らして枯らしてしまいます。成虫の発生時期は6月～8月頃ですが、秋以降は、木から排出される「フラス」を見つけることが早期発見の鍵となります。ご自宅や身近な場所で、疑わしいフラスや被害木を発見した場合は、下記通報フォームまたは農村環境課へお知らせください。

ナガエツルノゲイトウ



草刈り機などでの刈り払いやすき込みは同植物を切り刻むことになり、かえって爆発的な繁茂を引き起こす原因となります。**絶対に行わないで**ください。

特徴

- 河川、ため池、水路、ほ場、畦などで生育。日当たりのよい水辺では大群落となる
- 節から一對の葉が生えて、葉の先はややとがる
- 4月～10月にかけて、柄の先に白い球状の花をつける

発見した時の対応

①写真撮影をする(可能であれば)

クビアカツヤカミキリのフラスの報告
＝木の全体像とフラスのアップの写真
ナガエツルノゲイトウの報告
＝周囲の状況が分かるものとアップの写真



②発見日時・場所・状況を連絡する

クビアカツヤカミキリ
＝木の種類、被害状況なども報告



通報の方法

- 農村環境課へ電話 ☎552-5013
または
- 下記二次元コードから



クビアカツヤ
カミキリ
報告フォーム



ナガエツルノ
ゲイトウ
報告フォーム